

元気いっぱい 友だちいっぱい
すすんで学ぼう 夢つぼもう

横浜市立美しが丘小学校 平成30年 1月 31日



美小通信10

横浜市情報教育ネットワーク(YY ネット)上に本校のホームページがあります。

URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushigaoka/>

学校長 畠山 真

青葉区美しが丘2丁目29

電話(901)3408

災害から学ぶこと

校長 畠山 真

学校の門の横にある白梅と紅梅がそろって咲き出し、春の兆しが見え始め、如月を迎えます。毎日門に立っていると、子どもたちの元気な「おはようございます。」という声に励まされています。

1月22日(月)は、関東地方も降雪に見舞われ、横浜では数年ぶりに16cmという大雪になりました。翌日の朝から教職員総出で雪かきに追われました。地域の方も手伝ってくれて何とか子どもたちが安全に登校できるようにしました。雪かきをしていると通勤・通学に向かう地域の方からも、「ありがとうございます。」とお礼を言われ、子どもたちのために雪かきをしていることが、地域の方のためにもなっているのだと改めて思いました。雪の中、授業参観に多くの方々に来ていただき、感謝申し上げます。雪の後は寒さが続き、25日は東京で最低気温が-4度という48年ぶりの寒さを記録しました。インフルエンザにかかる人も非常に多くなり、全国で最高的人数を記録しました。今後もインフルエンザや感染性胃腸炎にかからないようにしっかりとうがい、手洗いをしていただきたいと思います。

給食週間が22日から行われました。明治時代に誕生した給食に感謝しようということで、この時期に全国的に実施されています。本校では給食集会を全校で行ったり、給食週間にちなんで特別メニューのトンカツやセルフおにぎり、すいとん、横浜発祥の地と言われるすき焼き風煮が出たりしました。給食は、子どもたちの心身の成長には欠かせないものです。これからも安全・安心でおいしい給食を提供していきたいと思っています。

さて、先日草津白根山が噴火し、十数名の死傷者が出ました。今まであまり警戒していなかった本白根山から噴火し、スキー場にいた人たちが巻き添えになり、被害に遭いました。数年前にも御嶽山が噴火し数十名の方が犠牲になりました。日本には、活火山が111もあり、世界でも有数の火山国ですが、火山の噴火予知はなかなか難しいようで、自分で気を付けなければと思いました。

1月17日は、「阪神・淡路大震災」から23年目を迎えました。避難訓練で、当時震源地の近くに住んでいた荻阪教諭から当日の様子を話してもらいました。家族がけがをして、命からがら避難する様子が伝わりました。私も折れた高速道路から車が落ちていく様子をテレビで見たのを今でも思い出します。丁度、17日の朝刊にこの日に生まれた方のことが、「がれきの街で生まれた奇跡の赤ちゃん」ということで載っていました。朝揺れた瞬間、父が母に覆いかぶさり、火の手が見え、家を出て避難先の小学校で破水し、見ず知らずの女性が車で休ませてくれたこと、病院へ向かう道が渋滞し、警官の助けでやっと4時間かかってたどり着いた病院が停電していて、父親の懐中電灯に照らされて自分が生まれたことが、まさに奇跡だと思ったと書かれていました。

3月11日には、東日本大震災から7年目を迎えます。災害の教訓を生かして自分の身を守り、次の世代に伝えていきたいと思っています。